

平成24年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



奈良県立医科大学の理念

(平成6年3月8日制定、平成17年12月13日一部改正)

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

奈良県立医科大学の目的

(平成6年3月8日制定、平成17年12月13日一部改正)

- 1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識・技能および生命倫理・医の倫理を習得させるとともに、将来、臨床・研究・教育のいずれの分野でも活躍できる独創性、応用力と豊かな人間性を身につけた人材を育成する。
- 2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的、先端的研究を学際的、国際的に推進することを主眼とし、大学院では、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。
- 3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果す医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的高度医療を担当する。

目次

平成24年度予算のあらまし	
1. 平成24年度予算の規模	1
2. 収入予算の概要	2
3. 支出予算の概要	3
4. 主な収入・支出の推移	4
5. 平成24年度部門別予算(大学)	6
6. 平成24年度部門別予算(病院)	7
平成24年度組織の整備	8
平成24年度予算の主要事業・新規事業	9
平成24年度予算の概要	
法人共通部門	
法人共通予算の概要	11
1. 法人の将来を見据えた投資	11
2. 法人組織の円滑な運営	
1. 法人職員の採用	12
2. 職員の資質向上	12
3. 学生・職員の福利厚生	13
4. 情報システム化の推進	13
5. その他の経費	14
3. 地域社会との連携	
1. 法人から地域社会への情報発信	14
教育・研究部門	
教育・研究関係予算の概要	16
1. 教育内容の充実	
1. 学生支援体制の充実	16
2. 人間性が豊かで優秀な医療人の育成	17
3. 大学院看護学研究科開設など看護教育充実への対応	17
4. 地域医療に貢献する医療人の育成	18
5. その他教育の運営に関する経費	18
2. 研究実施体制の整備	
1. 産学官連携の推進	19
2. 研究に必要な資金の確保	19
3. 研究者への支援	20
4. 寄附講座の設置	20
5. その他の研究関係費	21
3. 世界に通用する大学を目指して	
1. 国際交流	22
2. 国内大学との連携	22
4. 大学施設・設備の保全	
1. 老朽化した施設の改修	23
2. 大学施設管理経費	23
診療部門	
診療関係予算の概要	25
1. 附属病院の概要	25
2. 安全で質の高い先進の医療を提供	
1. 高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実	27
2. その他の経費	27
3. 奈良県の中核病院としての機能強化	
1. 地域医療を支える医師の養成	28
2. 地域医療連携の充実	28
4. 患者から信頼される病院の運営	
1. 患者サービスの向上	29
2. 病院運営に必要な経費	29
3. 診療報酬確保に向けた取組	30
5. 病院施設の整備	31

平成24年度予算のあらまし

1. 平成24年度予算の規模

平成24年度予算 363億1,352万円

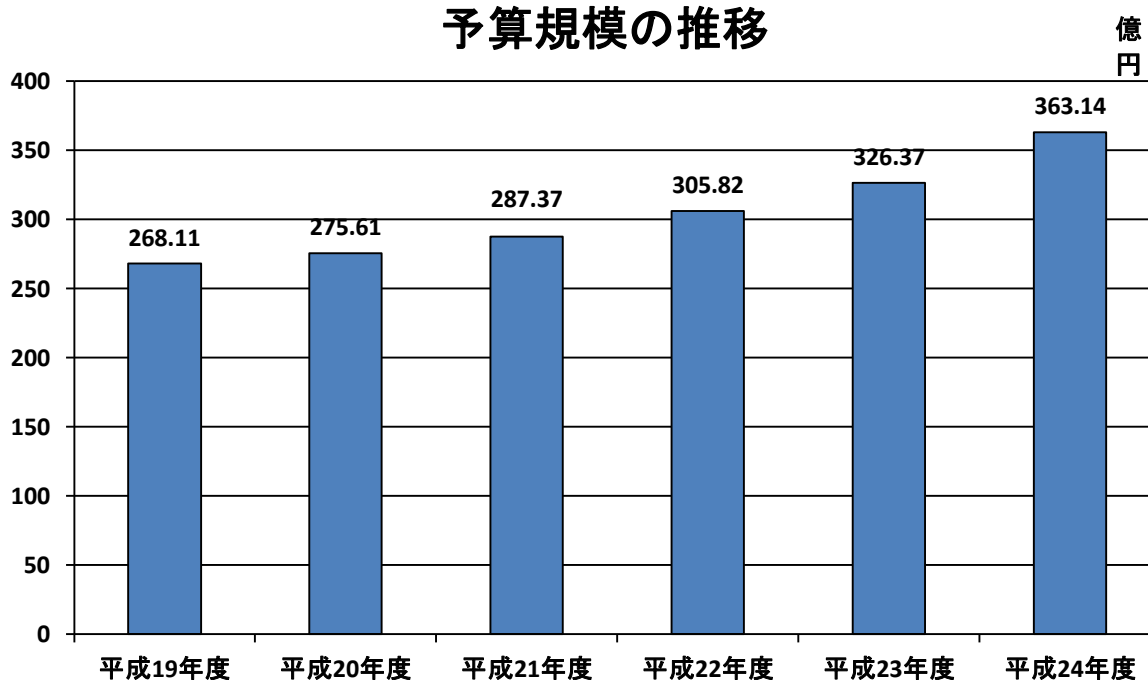
【前年度比 +36億7,609万円 +11.3%】

(※23年度予算 326億3,743万円)

予算規模が大幅な増となった要因

- ・病院収入の大幅な伸びとそれに連動した医薬品費、診療材料費の増
- ・看護職員の確保、医療技術職員の増員などによる人件費の増
- ・(仮称)中央手術棟整備の進捗や医療情報システムの更新など施設整備費の増

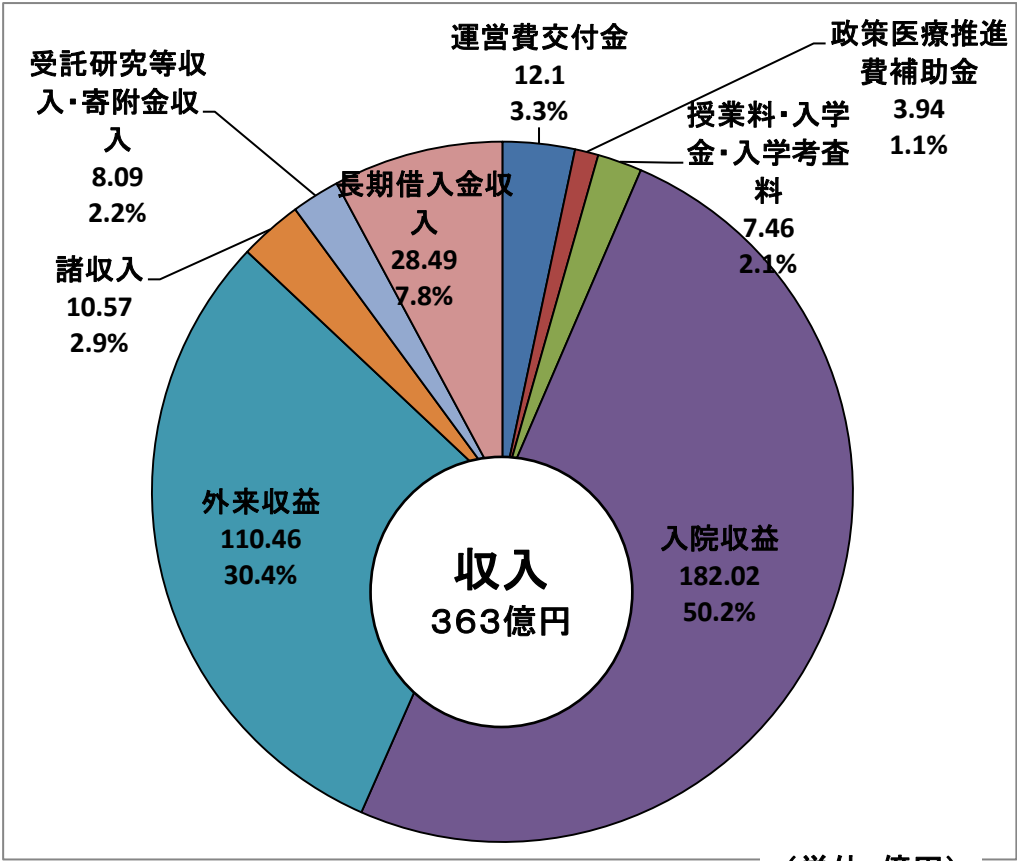
予算規模の推移



2. 収入予算の概要

(千円)

区 分	24予算		23予算		24-23	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金	1,210,460	(3.3%)	1,255,499	(3.8%)	△ 45,039	(△3.6%)
政策医療推進費補助金(補助金収益)	394,000	(1.1%)	394,000	(1.2%)	0	(0.0%)
自己収入	31,051,117	(85.6%)	28,552,281	(87.5%)	2,498,836	(8.8%)
授業料・入学金・入学審査料	745,812	(2.1%)	691,878	(2.1%)	53,934	(7.8%)
入院収益	18,202,000	(50.2%)	17,327,875	(53.1%)	874,125	(5.0%)
外来収益	11,046,000	(30.4%)	9,822,120	(30.1%)	1,223,880	(12.5%)
諸収入	1,057,305	(2.9%)	710,408	(2.2%)	346,897	(48.8%)
受託研究等収入・寄附金収入	809,043	(2.2%)	838,945	(2.6%)	△ 29,902	(△3.6%)
長期借入金収入	2,848,900	(7.8%)	1,596,700	(4.9%)	1,252,200	(78.4%)
合計	36,313,520		32,637,425		3,676,095	(11.3%)

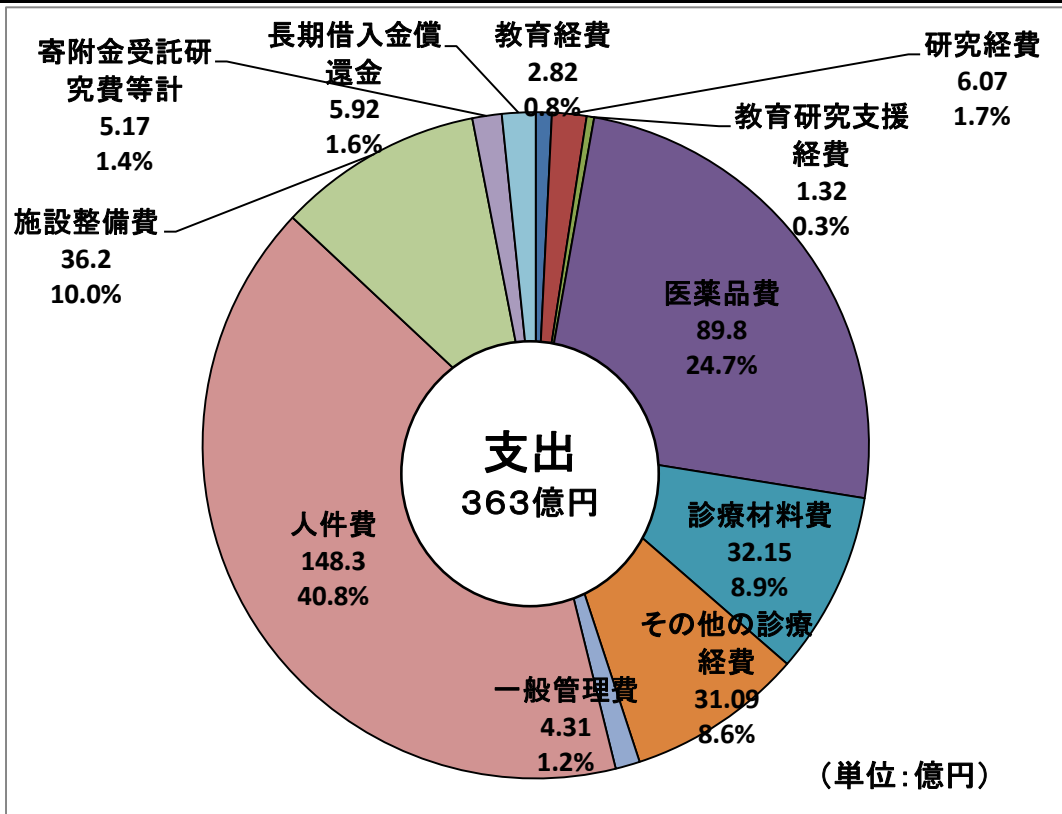


(単位: 億円)

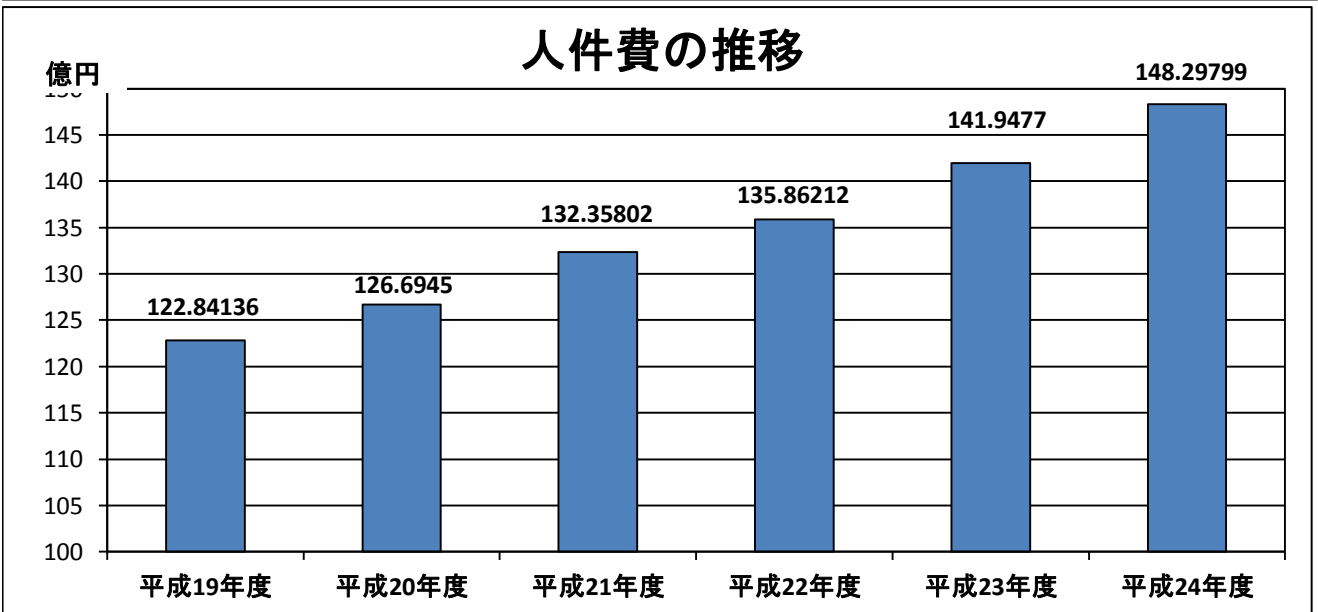
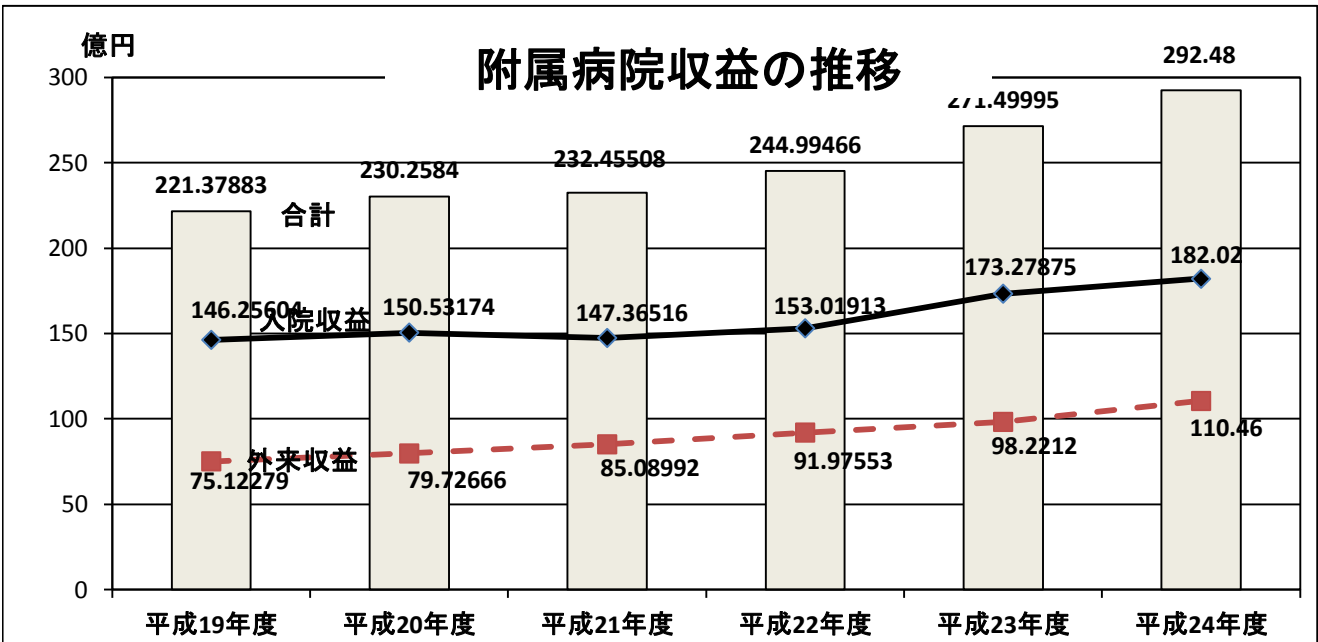
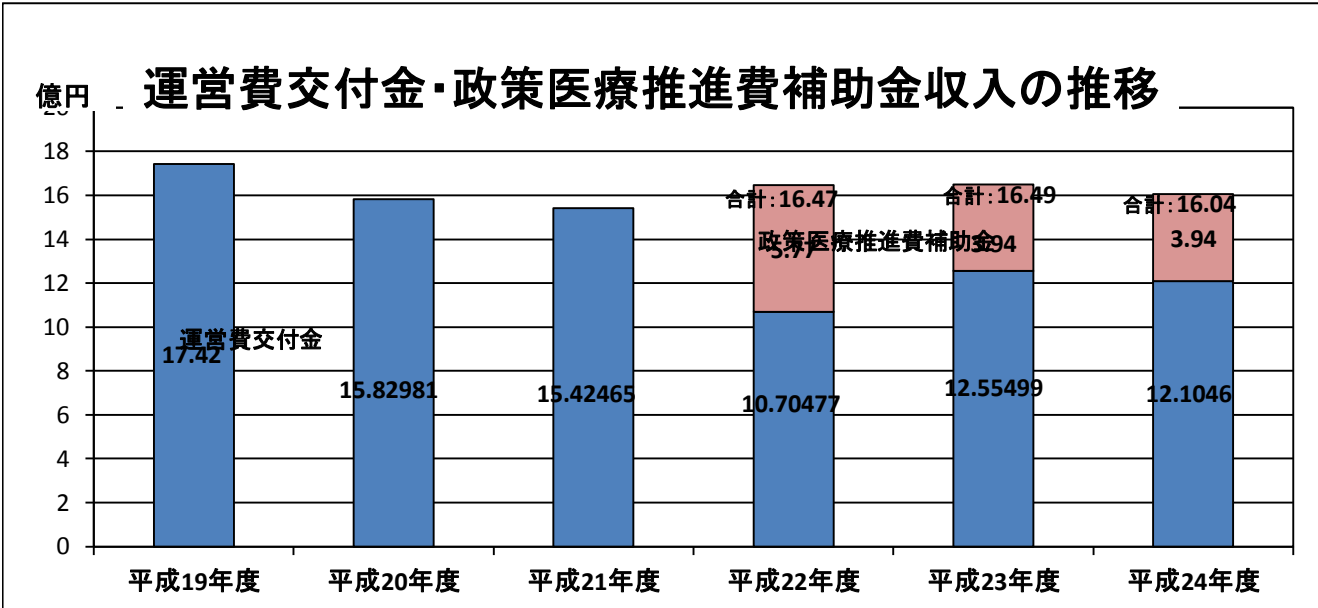
3. 支出予算の概要

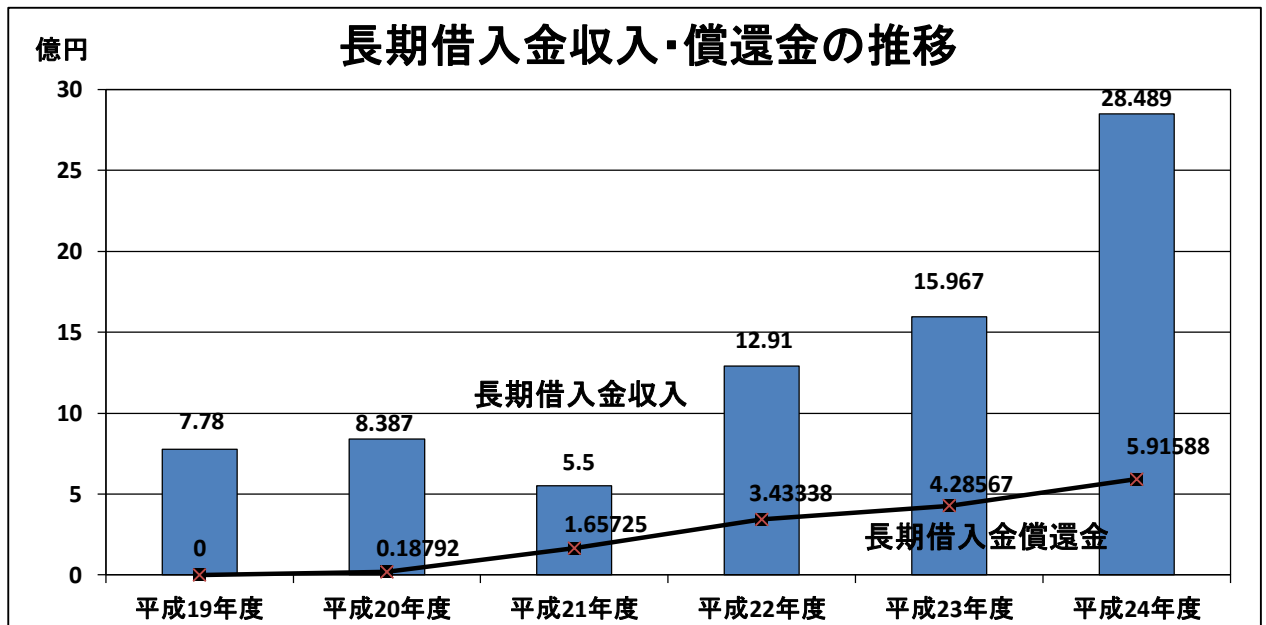
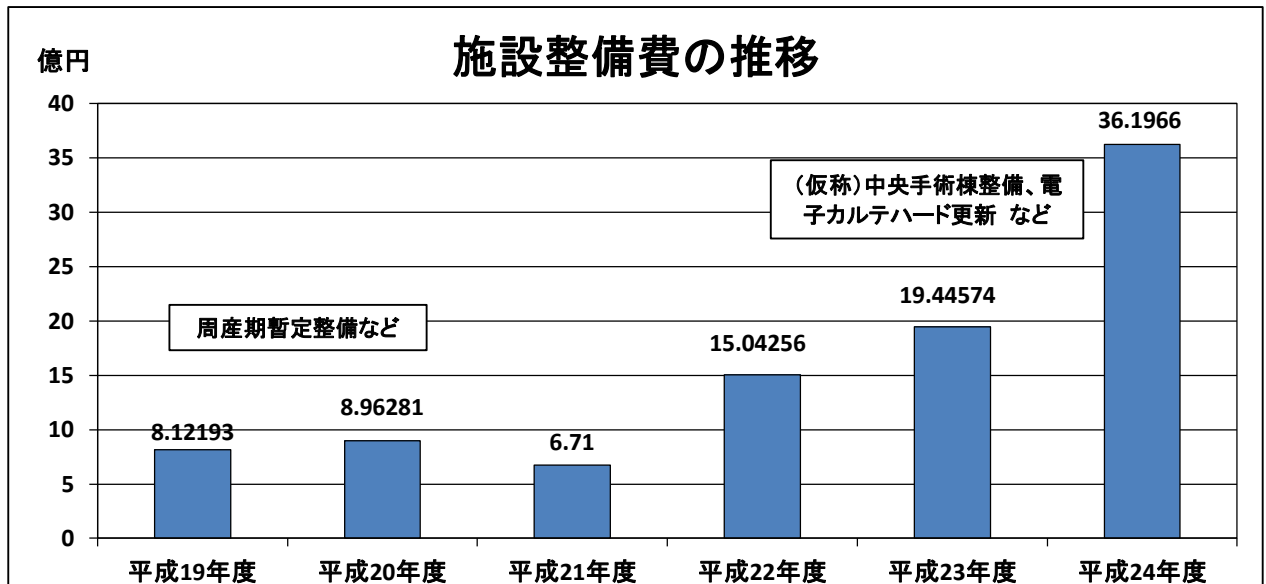
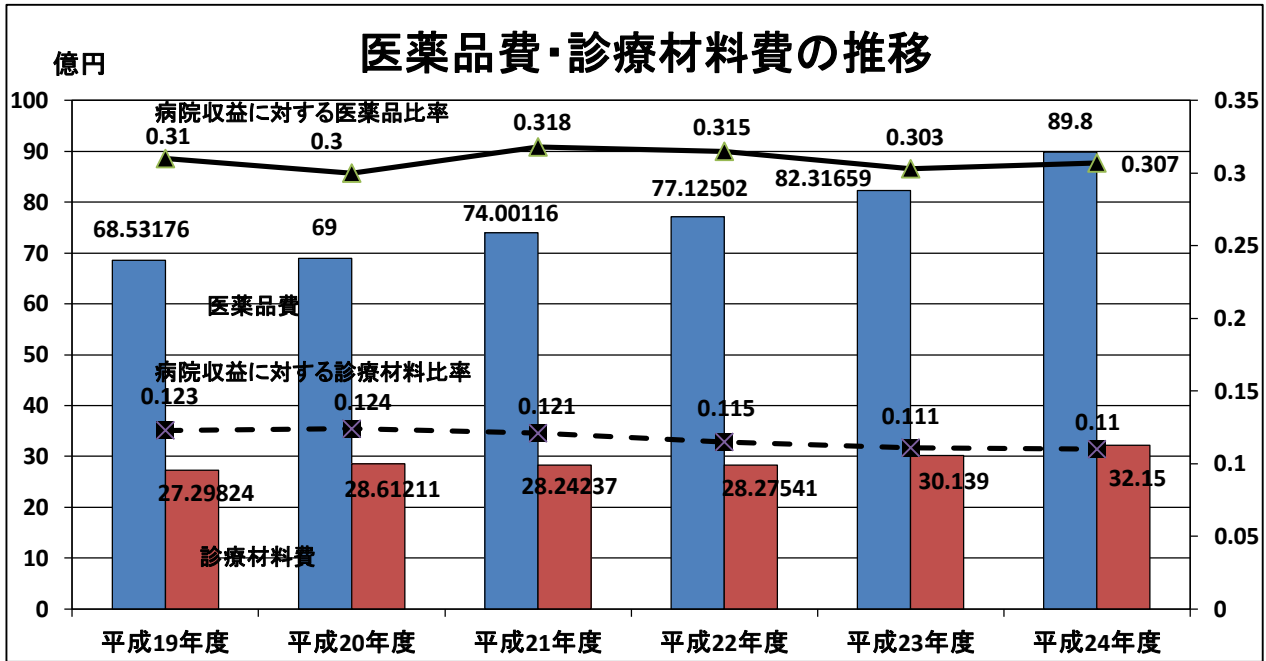
(千円)

区分	24予算		23予算		24-23	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育研究経費	1,020,464	(2.8%)	913,794	(2.8%)	106,670	(11.7%)
教育経費	281,744	(0.8%)	228,553	(0.7%)	53,191	(23.3%)
研究経費	606,893	(1.7%)	585,482	(1.8%)	21,411	(3.7%)
教育研究支援経費	131,827	(0.3%)	99,759	(0.3%)	32,068	(32.1%)
診療経費	15,303,642	(42.2%)	14,324,903	(43.9%)	978,739	(6.8%)
医薬品費	8,980,000	(24.7%)	8,231,659	(25.2%)	748,341	(9.1%)
診療材料費	3,215,000	(8.9%)	3,013,900	(9.2%)	201,100	(6.7%)
その他の経費	3,108,642	(8.6%)	3,079,344	(9.5%)	29,298	(1.0%)
一般管理費	431,295	(1.2%)	264,109	(0.8%)	167,186	(63.3%)
人件費	14,829,799	(40.8%)	14,194,770	(43.5%)	635,029	(4.5%)
施設整備費	3,619,660	(10.0%)	1,944,574	(6.0%)	1,675,086	(86.1%)
寄附金受託研究費等計	517,072	(1.4%)	566,708	(1.7%)	△ 49,636	(△8.8%)
長期借入金償還金	591,588	(1.6%)	428,567	(1.3%)	163,021	(38.0%)
支出合計	36,313,520		32,637,425		3,676,095	(11.3%)



4. 主な収入・支出の推移





5. 平成24年度部門別予算（大学）

（収入）

（千円）

区 分	24予算 A	23予算 B	24-23 A-B
運営費交付金	877,460	933,499	△ 56,039
自己収入	967,663	882,107	85,556
授業料・入学金・入学考査料	745,812	691,878	53,934
授業料	603,400	565,001	38,399
検定料収入	29,502	16,514	12,988
入学金	112,910	110,363	2,547
諸収入	221,851	190,229	31,622
補助金収益	102,858	80,412	22,446
手数料等収入	10,118	10,370	△ 252
財産貸付料	809	909	△ 100
専修生、研究生受講料	18,168	20,424	△ 2,256
科学研究費(間接経費)	66,889	53,596	13,293
その他	23,009	24,518	△ 1,509
受託研究等収入・寄附金収入	682,552	726,308	△ 43,756
寄附金収益	512,414	586,977	△ 74,563
受託研究等収益	170,138	139,331	30,807
長期借入金収入	0	5,904	△ 5,904
収入合計	2,527,675	2,547,818	△ 14,239

（支出）

区 分	24予算 A	23予算 B	24-23 A-B
教育経費 計	281,744	228,553	53,191
学生教育関係費	149,453	149,406	47
学生支援関係費	22,031	5,144	16,887
教育管理費	59,646	55,187	4,459
系統病理解剖関係費	7,664	6,532	1,132
入試関係費	25,350	12,284	13,066
奨学費	17,600	0	17,600
研究経費 計	606,893	585,482	21,411
教育研究関係費	88,018	87,064	954
研究管理費	166,940	162,982	3,958
総合研究施設運営関係費	84,468	78,041	6,427
教員研究関係費	247,400	241,316	6,084
科学研究費補助金(間接経費)	20,067	16,079	3,988
教育研究支援経費 計	131,827	88,380	43,447
図書館運営費	83,163	71,263	11,900
図書館管理費	6,696	6,790	△ 94
奈良医学雑誌刊行費	1,268	1,268	0
学内ネットワーク関係諸費	0	964	△ 964
教育研究支援経費	40,700	8,095	32,605
一般管理費	61,737	37,990	23,747
教育関係人件費	1,877,955	2,466,383	△ 588,428
一般管理人件費	51,414	60,709	△ 9,295
施設整備費	150,734	93,914	56,820
寄附金受託研究費等	437,612	493,828	△ 56,216
長期借入金償還金	154	0	154
支出合計	3,600,070	4,055,239	△ 455,169
収支差	△ 1,072,395	△ 1,507,421	435,026

6. 平成24年度部門別予算（病院）

（収入）

（千円）

区 分	24予算 A	23予算 B	24-23 A-B
運営費交付金	333,000	322,000	11,000
政策医療推進費補助金	394,000	394,000	0
自己収入	30,083,454	27,670,174	2,413,280
附属病院収入	29,248,000	27,149,995	2,098,005
入院収益	18,202,000	17,327,875	874,125
外来収益	11,046,000	9,822,120	1,223,880
諸収入	835,454	520,179	315,275
附属病院医業外収益	136,905	131,021	5,884
補助金収益	627,872	318,970	308,902
財産貸付料	23,919	32,851	△ 8,932
その他	46,758	37,337	9,421
受託研究等収入	126,491	112,637	13,854
長期借入金収入	2,848,900	1,590,796	1,258,104
医療用機器整備	650,000	650,000	0
新棟整備	1,006,000	581,700	424,300
アメニティ向上整備	50,000	0	50,000
新棟関連アメニティ	142,900	289,400	△ 146,500
電子カルテ	1,000,000	0	1,000,000
保育所整備	0	69,696	△ 69,696
収入合計	33,785,845	30,089,607	3,696,238

（支出）

区 分	24予算 A	23予算 B	24-23 A-B
診療経費計	15,303,642	14,324,903	978,739
医薬品費	8,980,000	8,231,659	748,341
診療材料費	3,215,000	3,013,900	201,100
その他病院運営費	1,945,998	1,970,306	△ 24,308
病院管理費（光熱水費・庁舎管理）	843,244	806,892	36,352
その他病院管理費	83,064	74,723	8,341
総合医療情報システム運営経費	227,321	218,302	9,019
指導経費	9,015	9,121	△ 106
一般管理費	369,558	226,119	143,439
教育支援経費（学内インターネット経費）	0	11,379	△ 11,379
診療関係人件費	12,194,253	10,951,054	1,243,199
一般管理人件費	706,177	716,624	△ 10,447
施設整備経費	3,468,926	1,850,660	1,618,266
寄附金受託研究費等	79,460	72,880	6,580
長期借入金償還金	591,434	428,567	162,867
支出合計	32,713,450	28,582,186	4,131,264
収支差	1,072,395	1,507,421	△ 435,026

平成24年度組織の整備

組織の新設

1. 「広報室」の新設

- ・広報機能を整備し、積極的・効果的な広報活動に対応

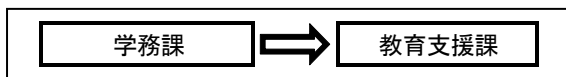
組織の再編

1. 保育園を法人内に組織化

- ・独立運営していた「なかよし保育園」を園舎の改築に伴い、法人内組織として配置

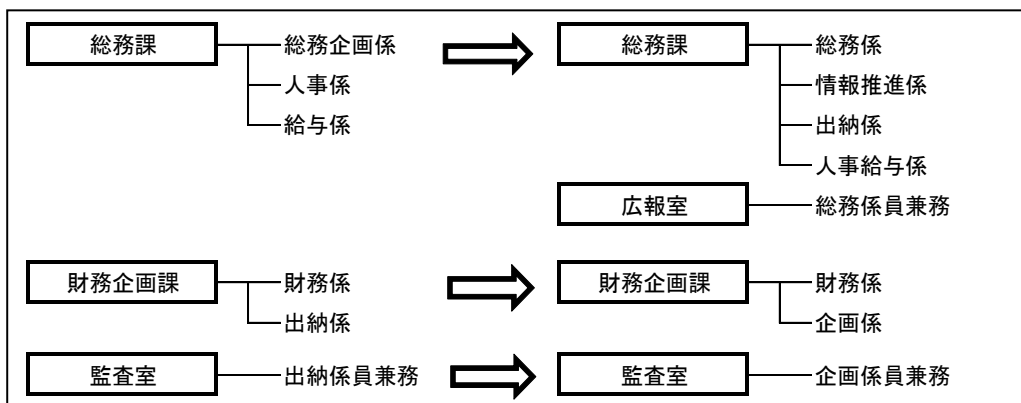
2. 法人企画部学務課の名称変更、機能充実

- ・学務のみならず学生支援、教育支援など教育に関わる事務の所管という観点から名称を変更
- ・入試制度改革に伴い、増大が予想される平成25年度入試業務に対応するため、体制を整える
- ・看護学科で直面する課題に対応するため、連絡調整担当を配置



3. 法人企画部総務課、財務企画課及び監査室の再編

- ・ICT推進担当部門の設置、企画機能の充実、監査体制の公明化等に対応

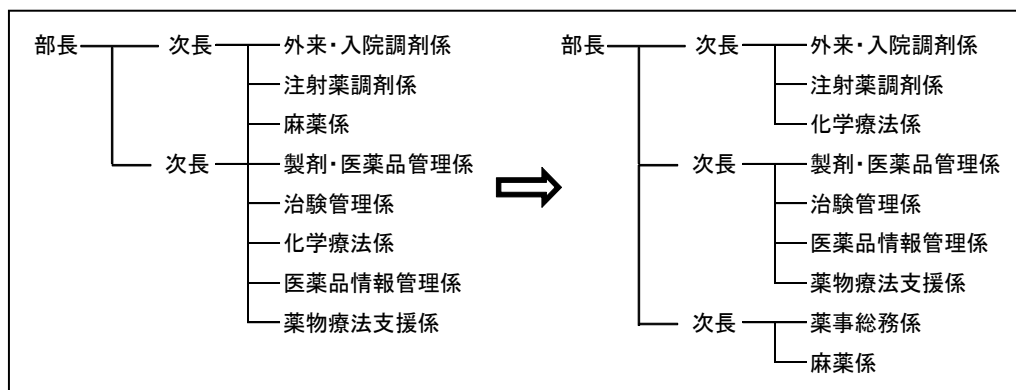


4. 中央放射線部の組織強化

- ・地域医療連携室で行っていた画像の取り込み・書き出しの業務を担当
- ・検査件数の増加に伴うCT、MR部門にそれぞれ単独の係長を設置

5. 薬剤部における組織運営の充実と強化

- ・部の庶務的業務、学生実習の受け入れ、酸素・ガス類取扱い、手術部業務対応等を担当する係を新設
- ・治験強化、化学療法の充実、病棟薬剤師配置試行等に伴う管理体制の強化や実習受け入れ対応等の



◆平成24年度予算の主要事業・新規事業

教育部門

学生生活支援体制の充実

- 学生アメニティ向上事業 20,000千円
学生が利用する学内施設設備等の整備や課外活動の支援など、学生生活の向上を図る
- 授業料の減免 12,000千円(12,056千円)
経済的に困窮した学生を支援するため、授業料の減免を実施(運営費交付金で財源措置)
- 教務事務システム設置事業 28,000千円
事務の迅速化、正確化を図り、学生サービスを向上させるため教務事務システムを導入

将来を担う優秀な学生の確保

- 研究医養成コースの創設 5,900千円
基礎・社会医学の分野における研究者、医学教育者を養成するため、「研究医養成コース」を創設(対象者に奨学金を貸与)
- 入試制度改革 20,093千円(8,564千円)
試験問題印刷経費の増額や質の向上のための学外入試委員謝金の増額など入試制度改革に必要な経費を計上
(仮称)入試センターの設置検討 1,000千円
入試制度を一元管理し、円滑な実施を図るため、(仮称)入試センターの設置を検討する

教育提供体制の充実

- ・医学科 49,166千円(56,505千円)
実験実習費の配分額を増額するとともに、老朽化備品の更新など教育環境の充実に必要な経費を引き続き計上
- ・看護学科 23,965千円(17,736千円)
実験実習費の配分額を増額するとともに、新カリキュラム対応など看護学科の教育環境の充実に必要な経費を引き続き計上
- ・大学院 12,798千円(8,356千円)
消耗品費の配分額を増額するとともに、看護学研究科の運営に必要な経費を計上
- 附属図書館の充実 18,500千円(7,000千円)
看護関連図書の大規模購入や視聴覚室改修、貸出用パソコンの更新など附属図書館の機能充実を図る

研究部門

研究成果の地域への還元

- 地域医療学講座事業 75,000千円(75,000千円)
県からの交付金を財源に講座を設置し、地域医療に関する研究を実施
- (仮称)地域医療学総合研究所の設置調査 1,000千円
地域医療学のロールモデルとなるよう総合的な研究所の設置準備
- (仮称)大和漢方医薬学薬学研究診療センターの設置検討 1,000千円
栽培から製造、処方、分析、評価、教育研究まで一貫したセンターの設置検討

研究支援体制・研究環境の充実

- 産学官連携の推進 28,510千円(17,898千円)
特任教授を新たに配置するなど、産学官連携に積極的に取り組む
- 女性研究者研究活動支援事業 32,680千円
女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備
- 大型研究用備品の更新 78,000千円(13,000千円)
総合研究棟に設置されている大型共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新
- 医学科講座研究費 218,612千円(212,679千円)
前年度からの繰越分を含む
- 看護学科教員研究費 14,607千円(15,456千円)
前年度からの繰越分を含む

管理部門

法人組織の円滑な運営・権利厚生への充実

- 保育所運営の充実 31,516千円(8,615千円)※保育料充当分除く
建替整備を実施した「なかよし保育園」を直営化し、保育所運営を充実
- 看護師の確保対策 32,628千円(51,540千円)
メールマガジンやポータルサイトの活用など情報発信を充実させるとともに、学校訪問や専用宿舎の確保など、看護師確保に向けた取組を継続
- 職員研修の充実 19,681千円(19,126千円)
職員研修の体系化を図り、内部研修を充実させるとともに、高い専門性を有した職員を育成するため、認定看護師資格取得など積極的に研修・学会等へ派遣
- 健康管理の充実 31,965千円(17,557千円)
学生及び教職員の健康診断等を一体的に管理する健康管理センターの運営(専任のセンター長配置)及び人間ドック実施に係る共済組合への補助

診療部門

法人の将来を見据えた大規模な投資

- 中央手術棟整備事業 1,442,100千円(672,892千円)
中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実に図るため、「中央手術棟」を整備
※通路棟閉鎖に伴い案内ブース設置等における患者の案内・誘導経費を含む

患者サービスの向上

- 新棟整備関連アメニティ整備 90,000千円(24,800千円)
緑化、玄関照明の改善、サインの統一など来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を改修
- 患者アメニティ向上事業 50,000千円(34,000千円)
患者等が利用する病院施設等整備により、快適な空間づくり、院内環境の改善等、アメニティ向上を図る
- フロアマネジメントの充実 1,266千円
新棟整備による通路棟閉鎖終了後も案内ブースを常設することにより、フロアマネジメントの充実を図る

病院機能の充実

- 「7:1」看護体制の継続
特定機能病院にふさわしい看護体制を継続実施
- 地域医療連携事業 1,790千円(2,131千円)
初診紹介患者予約診療、地域医療連携バス及び放射線画像支援の実施など
- 看護師研修センター等整備 52,907千円(256,700千円)
看護師宿舎の内部活用などにより、看護師研修センター等を整備
- 総合医療情報システム更新事業 1,000,000千円
電子カルテシステム等のハードウェア更新を行う
- 医療用備品の整備 ※1,000,000千円
県からの長期借入金やリース契約などを活用し、総額10億円の医療用備品整備枠を確保
※予算額はリース契約活用により796,000千円(728,000千円)

事務の合理化の推進

- 情報システムの整備・運営

学内ネットワークの運営	16,642千円	○情報セキュリティの強化	4,000千円
○SSL-VPNの運用	1,900千円	○人事給与システムの整備	1,000千円
○財務会計システムの更新	27,000千円		

法 人 共 通

法人共通予算の概要

○法人の更なる発展を目指し、法人の将来を見据えた効果的な投資を積極的に

○法人構成員それぞれが尊重され、その個性が生かされるよう配慮し、適切な競争と協調性が共存する組織運営を行う

○法人経営の安定化のため、引き続き経営改善を推進

1. 法人の将来を見据えた投資

- ・中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、県からの一部支援により、「(仮称)中央手術棟」を整備
- ・大学の教育部門(研究部門の一部を含む)移転については、法人内において議論を進めながら県・橿原市との協議を行う。

事業名	内容	予算額 (千円)
(仮称)中央手術棟整備事業	総事業費:約100億円(予定) 工期:平成22年度～平成27年度 規模:地下1階 地上7階	1,412,450



2. 法人組織の円滑な運営

正規職員の推移

(単位:人、百万円)

	H19	H20	H21	H22	H23見込	H24予算
教育職	340	353	346	344	359	349
事務職	97	96	96	105	121	130
医療技術職	140	152	157	169	196	230
看護職	654	655	746	821	846	886
技能労務職	42	41	32	19	17	14
合計	1,273	1,297	1,377	1,458	1,539	1,609
前年度との増減数	—	24	80	81	81	70
人件費(退職手当除く)	9,805	9,570	10,310	10,791	11,352	11,653

※人員数については各年度4月1日現在、人件費についてはH19～H22は決算額、H23は決算見込である

1. 法人職員の採用

- ・業務量に応じた人員の配置に努め、さらに優秀な職員が確保できるよう嘱託等の非常勤職員や民間の有為な人材の活用を含めた採用を実施
- ・引き続き職員の積極的な採用を行うとともに、補助職員の配置などの離職防止対策、育児休業者の早期復職支援などに積極的に取り組み、「7:1」看護体制の安定稼働を図る

(千円)

事業名	内容	予算額
職員採用事業	法人職員の募集、採用試験の実施に必要な経費	2,315
看護師確保事業	メールマガジンやポータルサイトの活用など情報発信を充実させるとともに、学校訪問、附属病院説明会・見学会の開催、合同就職説明会への出展などを実施	7,100
新規採用看護師宿舎確保対策事業	新規採用者を対象に、敷地外に法人が一括してワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舎を確保	25,528

2. 職員の資質向上

- ・高い専門性を有した職員を育成するため、積極的に専門的な研修に派遣
- ・職員の資質向上、適材適所への配置及び公正な処遇を図る見地から導入した人事評価制度について、処遇への反映を含め引き続き実施

(千円)

事業名	内容	予算額
SD研修事業	階層別研修、ビジネス(業務)スキル研修、ヒューマン(一般)スキル研修、全体研修を実施し、職員の業務遂行に必要な知識、能力を向上	2,911
看護師研修の実施	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施(看護師研修事業及びその他病院運営経費のうち看護師研修に係る分との合算額)	13,500
医療技術職研修の実施	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへ派遣(その他病院運営経費の内数)	3,270
病棟クラーク等講座参加助成	診療報酬請求の精度向上のため、病院職員が参加する診療報酬関連の講座への参加費を助成(診療報酬請求強化対策事業の内数)	788

3. 学生・職員の福利厚生

- ・健康管理センターに専任のセンター長を配置するなど機能充実を図り、学生及び教職員の健康管理に積極的に取り組む

事業名	内容	予算額 (千円)
健康管理事業	健康診断、予防接種など学生及び教職員の健康管理の実施や労働安全衛生管理体制の構築(専任のセンター長人件費含む)	30,275
(新) 共済組合補助事業	公立学校共済組合奈良県支部が実施する人間ドック事業に対する助成	1,690
院内保育所整備事業	法人職員の保育ニーズに対応するため、「なかよし保育園」の建替整備を行い、保育内容の拡充を図る 大型遊具、行事備品等 施設整備、庁内備品等	6,000
保育所の運営	保育士の人件費、光熱水費や給食業務の委託など「なかよし保育園」の運営にかかる経費(うち保育料等収入 11,214千円)	42,730

4. 情報システム化の推進

- ・情報通信技術の活用を通じた学術研究・教育活動の推進、情報公開の促進を図る
- ・情報システム化の推進により、事務処理の省力化、迅速化、簡素化、効率化を図る

事業名	内容	予算額 (千円)
情報システム運営事業	インターネット環境の保全等の学内ネットワークの運営管理に必要な経費	16,642
(新) 情報セキュリティの強化	情報セキュリティを維持・管理する仕組みが適切に構築されているかどうかを点検・評価するため、情報セキュリティ監査を実施	4,000
(新) SSL-VPNの運用	自宅や出張先からも学内LANの一部システムが利用可能となる仕組みを導入	1,900
(新) 人事給与システムの整備	人事情報の管理や給与計算などを行うシステム整備を検討	1,000
(新) 財務会計システムの更新	法人化時点で導入した財務会計システムの更新を実施	27,000
(新) 教務事務システム設置事業	事務の迅速化、正確化を図り、学生サービスを向上させるため、教務事務システムを導入	28,000

5. その他の経費

事業名	内容	予算額 (千円)
火災保険関係費	法人の財産などを守るため、企業財産包括保険、自動車保険、運送保険、賠償責任保険などの損害保険に加入	4,275
監査法人報酬	地方独立行政法人法第35条の規定に基づき、会計監査人と契約し、会計監査を実施	9,450
長期借入金償還金	法人化後の施設整備や医療用備品の購入に当たって、県から借り入れた長期借入金の償還金	591,588
短期借入金利息	法人の資金不足に対応するために金融機関から借り入れる単年度運転資金に対する償還利息	694
(新)公用車の更新	老朽化した事務局公用車について計画的に更新 3台更新	5,700
光熱水費・燃料費	一般管理部門(大学本館、厳櫃会館、エネルギーセンターなど)の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	37,065
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など一般管理部門の施設の管理にかかる各種委託	28,812
事務局等その他管理費	一般管理部門の施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	14,710
(新)大学機能評価受審	平成25年度の大学機能評価受審に向けた自己点検評価を実施 (法人運営事業の内数)	120

3. 地域社会との連携

法人から地域社会への情報発信

- ・広報誌、ホームページ等を通じて、法人情報を積極的に発信するとともに、地域住民などの健康教育を支援するため、公開講座や生涯教育等の学習機会を積極的に提供する

事業名	内容	予算額 (千円)
広報誌などの作成	学報、大学概要、大学案内の作成など、法人の情報を発信する各種広報誌を作成 (法人運営事業・その他医学科入試関係諸費の内数)	2,793
公開講座事業	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 開催日：平成24年9月8日、平成25年2月23日(予定) 場 所：櫃原文化会館大ホール、文化会館国際ホール	1,037
大学ホームページの運営	大学の教育研究活動等の積極的公開を図るため、本学ホームページサーバの運用に必要な経費 (情報システム運営事業の内数)	

教育・研究部門



教育・研究関係予算の概要

○人間性が豊かで高い実践能力を備えた医療人の育成のため、教育内容の質の向上、教育実施体制及び研究支援体制の充実を図る

○学生が充実した学生生活を送るために、学習支援・生活支援体制等、環境の充実を図る

1. 教育内容の充実

入学定員及び収容定員の推移

医学科	H19	H20	H21	H22	H23	H24
入学定員	95	100	105	113	113	113
編入学定員						2
収容定員	570	575	585	603	621	641
看護学科	H19	H20	H21	H22	H23	H24
入学定員	80	80	80	80	80	85
編入学定員	15	15	15	15	15	15
収容定員	350	350	350	350	350	355

※医学科については、H20緊急医師確保特別入学試験+5名、H21地域枠+5名、H22緊急医師確保特別入学試験+8名、H24研究医枠(編入学定員)+2名としている

合格者に占める県内出身者の割合

	H19	H20	H21	H22	H23
医学科	25.26%	26.00%	33.33%	42.48%	41.59%
看護学科	45.00%	50.00%	63.75%	62.50%	66.25%

※(例)H23の欄はH22年度試験実施、H23年度入学をいう

1. 学生支援体制の充実

・平成22年度に実施した「学生生活実態調査」の結果に基づき、修学環境の改善について引き続き取り組む

事業名	内容	予算額 (千円)
(新)教務事務システム設置事業 (再掲)	事務の迅速化、正確化を図り、学生サービスを向上させるため、教務事務システムを導入	28,000
(新)学生アメニティ向上事業	自習室の整備、看護学科合同講義室の机・椅子の更新、ロッカーの更新、課外活動への支援など、学生生活の向上を図る	20,000
基礎医学・看護学校舎トイレ改修工事	老朽化したトイレを改修し、便器の洋式化、電灯を人感センサー式にすることにより省エネ化を図る	15,000
授業料減免の実施	経済的に困窮した学生を支援するため、授業料の減免を実施	12,000
学生カウンセリング事業	学業、生活、将来等に対する学生の悩み、相談等に対して専門のカウンセラーを招へい	391

2. 人間性が豊かで優秀な医療人の育成

- ・人間性豊かな高い倫理観を有し、生涯にわたって自ら学び、高い実践能力を備えた医療人の育成に努める
- ・平成25年度入試(平成24年度実施)から、医学科入学試験の大幅な変更を行うとともに、将来を見据えた優秀な学生を確保するための効果的な方策について引き続き検討していく

(千円)

事業名	内容	予算額
医学科学生教育関係諸費	医学科の実験、実習に必要な消耗品費、備品費などの配分額を増額(+5,407千円)	40,766
大学院医学研究科教育充実関係諸費	大学院医学研究科の教育に必要な消耗品費の配分額を増額(+3,454千円)	11,798
医学科設備・備品等更新事業	教育環境の充実のため、講義室の液晶プロジェクターやスクリーン等を更新	8,400
入試制度の改革	試験問題印刷経費の増額や質の向上のための学外入試委員謝金の増額など入試制度改革に必要な経費を計上	20,093
(新) (仮称) 入試センターの設置検討	入試制度を一元管理し、円滑な実施を図るため、(仮称)入試センターの設置を検討する	1,000
(新) 研究医養成コースの創設	基礎・社会医学の分野における研究者、医学教育者を養成するため、「研究医養成コース」を創設(対象者に奨学金を貸与)	5,900
医学科教育関係講師謝礼	医学科の非常勤講師の報酬、交通費	22,164
特別講義	外部から著名な講師を招へいし、学生に対して実施する特別講義に必要な経費	505

3. 大学院看護学研究科開設など看護教育充実への対応

- ・平成24年度に大学院看護学研究科修士課程を開設
- ・看護実践能力習得のための技術演習の強化など、保健師助産師看護師法の改正に伴うカリキュラム
- ・平成24年度入学者から入学定員を5名増員することに伴う設備整備を実施

(千円)

事業名	内容	予算額
看護学科学生教育関係諸費	看護学科の実験・実習に必要な消耗品費の配分額を増額(+1,903千円)	20,965
看護学科新カリキュラム対応設備・備品等更新事業	新カリキュラムに対応した教育の充実に要する経費	3,000
(新) 大学院看護学研究科教育充実関係事業	平成24年度に新設する大学院看護学研究科の教育に必要な消耗品費、備品費などを計上	1,000

4. 地域医療に貢献する医療人の育成

- ・医師の「地域別・診療科別偏在化」に対する強い社会要請に応じて、平成20年度より医学科の入学定員を増員
- ・県からの補助金により地域医療学講座を設置し、地域医療に関する研究を行うとともに、研究成果をもとに公立病院やへき地への医師配置を検討

(千円)		
事業名	内容	予算額
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	75,000
(新)(仮称)地域医療学総合研究所の設置調査	地域医療学のロールモデルとなるよう総合的な研究所の設置準備	1,000
地域医療教育支援事業	県内で地域医療に従事しようとする医師を確保するため、県からの補助金を財源にメンター実習等を推進	4,270

5. その他教育の運営に関する経費

(千円)		
事業名	内容	予算額
附属図書館運営事業	電子ジャーナル、図書の購入など附属図書館の運営に要する経費(うち科研費間接費充当額 10,000千円)	64,663
附属図書館の充実	看護関連図書の大規模購入や視聴覚室改修、貸出用パソコンの更新など附属図書館の機能充実を図る	18,500
教育開発センター運営費	教育開発センターの運営に必要な経費	3,137
共用試験実施事業	共用試験(OSCE及びCBT)の実施に要する経費	2,645
FD関係諸費	教員の授業評価や教育討論会、コンソーシアム(単位互換)に必要な経費	1,325
オープンキャンパス事業	オープンキャンパスの開催、学生や教員による出前講座の実施に必要な経費	600

2. 研究実施体制の整備

科研費採択状況の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23見込
採択件数(件)	96	113	123	119	133	141
採択率(件数)	35.3%	39.6%	41.1%	39.5%	38.7%	40.5%
採択金額(百万円)	186	221	190	176	176	211
採択率(金額)	27.1%	25.6%	25.2%	22.4%	22.2%	28.8%

外部資金の獲得金額の推移

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23見込
科研費	186	221	190	176	176	211
受託研究等	230	321	307	318	412	259

※H23は2月1日現在における実績である

1. 産学官連携の推進

- ・産学官連携推進センターに特任教授を配置し、産学官での共同研究を推進
- ・本学の研究シーズ、ニーズを積極的に情報発信し、国内外との共同研究を推進

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) (仮称)大和漢方医学薬学研究診療センターの設置検討	栽培から製造、処方、分析、評価、教育研究まで一貫したセンターの設置検討	1,000
知的財産管理事業	本学の研究成果として生み出された知的財産の権利を確保し、産学官連携に有効活用するための管理経費	5,080
産学官連携活動事業	産学官連携推進センター特任教授の配置、知的マネジメント委託、シーズ出展など産学官連携に必要な経費	23,430
(新) 研究情報発信事業	本学の研究シーズ、ニーズをホームページ及び冊子により情報発信	3,000

2. 研究に必要な資金の確保

- ・競争的研究資金や寄附金の獲得など、研究に必要な資金を積極的に確保

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 外部資金獲得事業	応募に関する講習会の開催や申請書の作成指導など応募申請に対する支援を実施	1,000
科学研究費補助事業	科学研究費間接費のうち、研究者使用分	20,067
医学科教員研究関係諸費	医学科講座研究費及び学会人当旅費	224,312
看護学科教員研究関係諸費	看護学科教員研究費及び学会人当旅費	15,201

3. 研究者への支援

・次代を担う人材を育成するため、若手研究者や女性研究者を支援

(千円)

事業名	内容	予算額
女性研究者研究活動支援事業	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施	32,680
高度な研究者による講演会	世界レベル・全国レベルの講演者を招へいし、本学全体の研究レベルの向上につながるテーマを選定し、講演会を開催	1,000
若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援	400
女性研究者への支援	優れた研究を行っている女性研究者の表彰を行い、研究意欲を高め、将来を担う優秀な女性研究者を育成	350
特別講演事業	教室の枠を超えた全学的な範疇にわたる内容について、ハイレベルな学外からの情報知識を得ることにより、本学の学術研究のレベルアップを図る	1,050

4. 寄附講座の設置

(千円)

講座名	内容	予算額
住居医学講座	寄附者 : 大和ハウス工業株式会社 設置目的: ~住まいを医学する~をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ 設置期間: 平成18年度～25年度(当初6年間から2年間延長) 寄附総額: 6億円	30,000
血栓制御医学講座	寄附者 : バイエル薬品株式会社 設置目的: 止血及び病的血栓形成のメカニズム解明、その制御(治療と予防) 設置期間: 平成21年度～26年度(6年間) 寄附総額: 1億8,750万円	37,125
血圧制御学講座	寄附者 : 万有製薬株式会社 設置目的: 血圧における食塩と高血圧発症の影響を検討 設置期間: 平成22年度～24年度(3年間) 寄附総額: 6,000万円	18,500
人工関節・骨軟骨再生医学講座	寄附者 : 日本メディカルマテリアル株式会社 設置目的: 人工関節及び人工骨頭材料の臨床研究、新しい人工関節材料と細胞治療を用いた再生医学との融合による有用な方法の開発 設置期間: 平成23年度～25年度(3年間) 寄附総額: 7,500万円	24,375

5. その他の研究関係費

		(千円)
事業名	内容	予算額
総合研究施設運営関係費	総合研究棟の管理・運営にかかる委託費及び消耗品費や修繕費など総合研究施設運営に必要な経費	84,468
大型備品の整備	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000
(新)大型研究用備品の更新	総合研究棟に設置されている大型共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	65,000
機関リポジトリの運営(再掲)	知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムの運用に必要な経費 (附属図書館運営諸費の内数)	1,529

3. 世界に通用する大学を目指して

国際交流協定大学			国内協定大学		
大学名	国名	締結年月	大学名	都道府県名	締結年月
チェンマイ大学	タイ王国	平成8年8月	同志社女子大学	京都府	平成19年6月
福建医科大学	中国	平成16年12月	早稲田大学	東京都	平成20年12月
オックスフォード大学	イギリス	平成20年4月	奈良先端科学技術大学院大学	奈良県	平成21年3月
ルール大学	ドイツ	平成22年4月			

国際交流受入実績	(単位:人)				
	H18	H19	H20	H21	H22
研究者招へい	3	3	3	1	0
研究者派遣	3	3	5	8	2
留学生受け入れ	4	6	6	2	3
留学生派遣	10	4	4	4	4

1. 国際交流

- ・協定を締結している海外大学との連携強化を図るとともに、新たな交流協定の締結を検討

(千円)

事業名	内容	予算額
国際交流事業	交流協定を締結した海外の大学との研究者及び学生の派遣、受入に必要な経費	1,820
ゲストハウス維持管理費	海外からの研究者などを受け入れるゲストハウスの維持管理に必要な経費	650

2. 国内大学との連携

- ・学術交流等の協定を締結している各大学との教員・学生の交流を推進
- ・奈良県大学連合における単位互換制度を利用した一般教育科目の履修カリキュラムを継続
- ・早稲田大学、関西医科大学との連携による「研究医養成コース」を開設

(千円)

事業名	内容	予算額
大学連携推進事業	本学の協定校である早稲田大学及び同志社女子大学との連携事業に要する経費	2,000
協定大学交流事業	学術交流に関する包括協定を締結している国内の大学との共同シンポジウム開催、院内コンサート招へいなどの交流を実施	686
(新) 研究医養成コースの創設(再掲)	基礎・社会医学の分野における研究者、医学教育者を養成するため、「研究医養成コース」を創設(対象者に奨学金を貸与)	5,900

4. 大学施設・設備の保全

大学主要施設の建築年

施設名	大学本館	一般教育校舎	基礎医学校舎	臨床講義棟	総合研究棟
建築年	昭和36年	昭和40年 (昭和53年増築)	昭和53年 (平成3年増築)	昭和39年 昭和56年	平成5年
施設名	臨床研究棟	看護学校舎	附属図書館	大講堂	体育館
建築年	昭和34年	昭和45年 平成8年	昭和54年	昭和44年	昭和49年

1. 老朽化した施設の改修

- ・大学施設については、老朽化が進行しており、緊急度の高い箇所について改修を実施
- ・学生アメニティ向上のため、トイレの洋式化などを計画的に実施

(千円)

箇所名	内容	予算額
基礎医学・看護学校舎トイレ改修工事(再掲)	老朽化したトイレを改修し、便器の洋式化、電灯を人感センサー式にすることにより省エネ化を図る	15,000
第2臨床講義室パッケージエアコン更新	老朽化により冷暖房効率が著しく低下した空調設備を更新	4,800
基礎医学校舎受水槽・高架水槽設備更新工事	経年劣化により亀裂が生じ、漏水事故が発生しているため、水槽の更新工事を実施	49,000
総合研究棟セキュリティー設備更新	総合研究棟への入退室を管理する「入退室管理システム」を平成23年度よりリース方式により更新	3,527

2. 大学施設管理経費

(千円)

事業名	内容	予算額
光熱水費・燃料費	大学校舎、看護学校舎、臨床・基礎校舎、総合研究棟などの大学施設の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	134,790
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など大学施設の管理にかかる各種委託	79,118
その他大学管理費	大学施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	12,678
附属図書館管理費	光熱水費や庁舎管理費など、附属図書館の施設管理に係る経費	6,696

診 療 部 門



診療関係予算の概要

特定機能病院として、高度で先進的な医療、総合的で良質な医療の提供体制の充実を図る

患者サービスの向上や地域医療連携の充実など奈良県の中核病院としての機能強化を図る

医師臨床研修や看護師研修などの充実を図り、医療の質の向上に努め、県民から信頼される病院運営を行う

1. 附属病院の概要

(平成24年4月1日現在)

項目	内容
病床数	978床(一般病床 861床、感染病床 9床、精神病床 108床)
診療科	循環器・腎臓・代謝内科、呼吸器・血液内科、消化器・内分泌代謝内科、感染制御内科、神経内科、消化器外科・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、整形外科、歯科口腔外科、産婦人科、眼科、小児科、精神科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・甲状腺外科、放射線科(画像診断・IVR)、放射線治療・核医学科、麻酔科、救急科、総合診療科
中央部門	中央臨床検査部、輸血部、中央手術部、集中治療部、中央放射線部、リハビリテーション部、中央内視鏡・超音波部、透析部、病院病理部、医療情報部、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、感染症センター、精神医療センター、腫瘍センター、緩和ケアセンター、治験センター、移植細胞培養センター、小児センター、メディカルバースセンター、ペインセンター、リウマチセンター、糖尿病センター、形成外科センター、中央材料室、医療安全推進室、遺伝カウンセリング室、地域医療連携室
その他の組織	薬剤部、看護部、栄養管理部、臨床研修センター、医療技術センター
病院機能	特定機能病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、高度救命救急センター、第一種・第二種感染症指定医療機関、基幹型臨床研修病院、特定承認保健医療機関(高度先進医療)、エイズ中核拠点病院、精神科救急医療施設、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター

2. 安全で質の高い先進の医療を提供

病床稼働率・平均在院日数の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
平均運用病床数	910	818	755	840	870	880
病床稼働率(対運用病床)	90.2%	94.4%	94.6%	91.7%	86.9%	86.5%
平均在院日数	18.2	16.6	15.5	15.4	14.5	13.6

※H23は12月までの実績値である

※H19～H20については看護師不足により運用病床数が減少、またH22は手厚い看護体制の導入により病床稼働率が減少した

患者数の推移

(単位:千人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
患者数	747.9	740.6	738.6	763.9	771.5	795.8
うち入院患者数	297.4	283.9	260.5	280.6	275.9	279.0
うち外来患者数	450.5	456.7	478.1	483.3	495.6	516.8

※H23は12月までの実績を元にした年間推計値である

新入院患者数の推移

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
年間新入院患者数	12,224	12,510	11,948	13,312	13,949	14,807

※H23は12月までの実績を元にした年間推計値である

ICU・CCU患者数

(単位:件)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
年間件数	3,493	3,612	3,324	3,489	3,380	3,171

※H23は12月までの実績を元にした年間推計値である

周産期センター患者数及び分娩件数

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
NICU(GCU含む)	7,259	6,702	7,313	7,770	7,518	8,492
MFICU(PICU)	761	768	1,007	1,522	1,503	1,436
分娩件数	529	679	723	823	728	802
正常分娩	169	196	191	195	173	191
異常分娩・帝王切開	360	483	532	628	555	611

※H23は12月までの実績を元にした年間推計値である

※H20.5に総合周産期母子医療センター(母体・胎児集中治療部門、新生児集中治療部門)を設置

先進医療への届出件数

(単位:件)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
当該年度の届出件数	1	2	4	1	1	3
届出件数累計	3	5	7	8	6	8

※H20は先進医療から保険適用替えが2件、H22は適用替えが2件、取り下げが1件、H23は取り下げが1件ある。

1. 高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実

- ・一般の医療機関では実施することが難しい手術や高度で先進的な医療を実施
- ・特定機能病院等本院の位置づけ、役割にふさわしい医療機器の整備を行う
- ・高度先進医療の積極的な開発・提供を行う

(千円)

事業名	内容	予算額
都道府県がん診療連携拠点病院 関連経費(国庫補助事業)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん 診療連携協議会、がん相談、院内がん登録などの諸事業 を実施 (がん診療連携拠点病院機能強化事業の内数)	3,244
緩和ケアの充実	がん診療連携拠点研修会などの緩和ケアチームの活動経 費及び「まほろばPEACE緩和ケア研修会」開催経費	1,695
がん専門医臨床研修事業関連経 費	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を実 施	1,500
(新)総合医療情報システム更新 事業	電子カルテシステム等のハードウェア更新に必要な費用	1,000,000
医療用備品整備	県からの長期借入金を財源として、高度で先進的な機器な ど本院の役割にふさわしい医療機器などの充実を図る	650,000
	法人独自の財源により、リース方式などを活用し、更なる医 療機器の充実を図る(購入額 3.5億円相当)	146,000
医療用機器等保守・修繕費	法令等で保守点検が規定されている機器や患者の生命に 関わる機器などの保守点検委託費及び修繕費	394,000

2. その他の経費

(千円)

事業名	内容	予算額
治験センターの運営	臨床治験を積極的に推進するため、治験及び医薬品等製 造販売後調査を管理する治験センターの運営経費	43,586
産科医療補償制度負担金	脳性麻痺等の出産に対する迅速な補償と出産に関わる医 療従事者への訴訟リスクを軽減するため、産科医療補償制 度へ引き続き加入	28,800
医師賠償責任保険	医療の高度化・複雑化に伴い増大している医療事故の発 生リスクに対応し、患者への迅速な補償と医療従事者の負 担軽減のため医師賠償責任保険に引き続き加入	23,316
医療安全推進費	医療安全の確保のため、医療安全に関する教育・啓発や 転倒防止用具の整備などを実施	553
DMAT関連経費	災害拠点病院(基幹災害医療センター)としてDMAT(災 害派遣医療チーム)の装備等の充実を図る	1,000

3. 奈良県の中核病院としての機能強化

紹介率・逆紹介率の推移

	H19	H20	H21	H22	H23
紹介率の年平均	62.0%	64.2%	67.6%	71.0%	73.7%
逆紹介率の年平均	31.8%	33.8%	33.2%	36.2%	41.6%

※平成23年度は12月までの実績平均である

臨床研修医の推移

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
臨床研修医(医科)	42	55	89	96	95	93

※各年度4月1日現在

1. 地域医療を支える医師の養成

・研修医のニーズに応じたきめ細やかなカリキュラムを作成することにより、研修医の満足度及び後期研修医としての継続勤務志向を高める

・臨床研修医等が研修に専念できるよう臨床研修センターの体制整備や研修環境の改善等に取り組む
(千円)

事業名	内容	予算額
臨床研修医関連経費	臨床研修プログラムの充実、指導医向け講習会の開催、臨床研修医の確保のための情報提供など、臨床研修関連経費	6,878
臨床研修に係る負担金	協力型病院への臨床研修費国庫補助金の配分及び他院研修医の当院への受入にかかる給与等負担金	14,749

2. 地域医療連携の充実

・地域医療連携をより一層推進するため、運営体制を確立するとともに関係機関との連携を促進する

・地域医療機関の医療水準向上のため、最先端医療情報を提供するとともに、研修会等の開催支援を行う
(千円)

事業名	内容	予算額
地域医療連携推進事業	初診紹介患者予約診療、退院調整チームによる転退院調整、地域医療連携バスの実施、地域医療連携連絡協議会及び懇話会の開催、地域医療連携室だよりの発行など	1,790

4. 患者から信頼される病院の運営

医薬・診療材料比率の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23見込
医薬材料費比率	46.3%	46.0%	45.6%	45.3%	42.7%	42.6%
うち医薬品費比率	32.4%	33.0%	32.3%	33.0%	31.3%	31.3%
うち診療材料費比率	13.9%	13.0%	13.3%	12.3%	11.4%	11.3%
院外処方箋比率	7.5%	7.6%	7.4%	7.5%	7.7%	7.7%

※H23は12月までの実績を元にした年間推計値である

1. 患者サービスの向上

- ・引き続き「声のポスト」や総合相談窓口等を通じて患者等の意見やニーズ把握に努めるとともに、患者の満足度の向上に向けた取り組みを推進する

(千円)

事業名	内容	予算額
新棟整備関連アメニティ整備事業	来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を整備 正面玄関ホール、会計エリアの整備など	90,000
患者アメニティ向上事業	患者アメニティの向上を図るため、外来エリアにおける壁・天井の改修、診療室ドア改善、テレビ設置、入院エリアの床改修等を実施	50,000
患者案内誘導業務委託	新棟整備による通路棟閉鎖のため、案内ブースを設置し、患者の案内・誘導を実施	29,650
(新)フロアマネジメントの充実	新棟整備による通路棟閉鎖終了後も案内ブースを常設することにより、フロアマネジメントの充実を図る	1,266
患者満足度調査業務委託	患者に対し当院の評価をアンケート調査し、患者ニーズを把握 H24 外来患者に対するアンケート調査	242

2. 病院運営に必要な経費

- ・積極的な値引交渉や安価な物品への切替などにより、医薬・診療材料比率の改善を図る
- ・医療サービスの質を確保しつつ、外部委託の導入や委託業務等の仕様の見直し、一括契約、複数年契約などを検討し、経費の縮減を図る

(千円)

事業名	内容	予算額
医薬品費	診療に必要な医薬品の購入	8,980,000
診療材料費	診療に必要な診療材料の購入	3,215,000
給食材料費	入院患者給食の材料費、出産祝い食の提供(産科及びパースセンター)、災害時備蓄食品の購入など	188,253
医事委託費	外来部門の受付や料金計算、診療報酬請求業務などの医事業務の委託及び病棟などのベッドメイキング委託	343,673

事業名	内容	予算額
病院関連委託費	貸与被服やタオルの洗濯、手術室の清掃、SPD業務、給食業務など、病院業務に関連する各種委託	374,330
臨床検査委託費	臨床検査のうち、当院で分析できないもの、件数が少なくコスト高になるものなどについて外部委託	232,356
在宅用機器賃借料	在宅酸素、人工呼吸器、持続陽圧呼吸療法など、在宅医療用機器の借り上げ料	140,300
病院関連借上費	医療機器・検査機器のリース料や病棟カーテン、カルテ倉庫の借り上げ料など	29,766
総合医療情報システム運営事業 (電子カルテシステム)	電子カルテシステムの維持・管理に係る運用保守委託 (新)職員IDカードの更新	227,321
病院経営分析事業	専門業者を活用し、当院の経営診断を行い、改善項目の中で効果的なものについて導入を図る	6,000
病院収入管理事業	患者の利便性向上のため、引き続きクレジットカードでの支払方法を提供し、患者サービスの向上を図る	7,573
その他病院運営経費	職員旅費、通信運搬費、日用品・事務用消耗品の購入経費など	92,295
光熱水費・燃料費	病院内の冷暖房や医療用機器の運転などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	489,020
庁舎管理委託費	病院内の清掃や医療機器以外の設備の保守点検、警備など病院庁舎の管理にかかる各種委託	354,224
その他病院管理費	病院施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費及び駐車場用地の借地代など	81,964

3. 診療報酬確保に向けた取組

・診療報酬請求の精度アップ・チェック等体制強化に向けて、専門的研修への派遣、自己啓発の推進など職員のスキルアップを図る

・総合医療情報システムやDPC分析システム、SPDデータなど各種関連データを有効活用して、経営分析等に有用な各種資料や指標の作成・検討を行い、診療報酬の確保に向けた取り組みを進める

(千円)

事業名	内容	予算額
診療情報管理事業	診療情報管理士及び補助員を配置し、DPCチェック、電子カルテの記述チェック、検査記録の登録などを実施し、請求漏れの防止等を図る	14,868
入院係直営化推進事業	入院部門における診療報酬請求の精度向上を図るため、職員のスキルアップに必要な研修の参加経費など	1,443
レセプト院内審査支援システム事業	レセプトチェックの機械化により業務の適正化、効率化を図り、診療報酬請求の精度向上に取り組む	2,520
診療報酬請求強化対策事業	診療報酬請求を行う職員のスキルアップのための研修への参加経費の助成など	1,485
未収金対策事業	回収が困難となっている病院医療費の患者未収金について、債権回収会社への委託や法的措置等の手段を活用し、回収増を図る	5,486

5. 病院施設の整備

- ・利用者の視点に立った施設整備等の維持補修に取り組み、施設の利用環境の向上を図る
- ・各設備の性能維持のため定期的に保守点検を実施し、故障箇所は修繕等を実施する

箇所名	内容	(千円) 予算額
看護師研修センター等整備	看護師宿舎の内部活用などにより、看護師研修センター等を整備	52,907
患者アメニティ向上事業(再掲)	患者アメニティの向上を図るため、外来エリアにおける壁・天井の改修、診療室ドア改善、テレビ設置、入院エリアの床改修等を実施	50,000
A病棟高架水槽更新工事	経年劣化が著しく、水漏れの恐れがあるため、A病棟の高架水槽について更新工事を実施	22,300
搬送設備ホストコンピュータ更新	設置後15年が経過しており、経年劣化により異常が発生しているため、設備の更新を実施	8,000
旧救急棟給湯温水ボイラ更新	運転開始より20年以上経過し、経年劣化により機能低下が進行しているため、更新工事を実施	4,000
A病棟地下医療ガス設備吸水ポンプ更新	経年劣化により機能低下が著しいため、設備の更新を実施	3,700
管理棟他病院建物屋上防水工事	建物の老朽化により雨漏りの恐れがあるため、屋上防水工事を実施	5,000